



釣り場割引クーポン券

野田幸手園 椎の木湖 清遊湖 谷和原大沼
 隼人大池 上尾園 F.A吉羽園 谷養魚場
 将監 柳生FP 筑波白水湖 泉環 逆井HC
 友部湖崎湖 水藻FC 甲南へらの池
 三和新池 狭山HC 新座LC 川越FC
 府中HC 当麻池 多賀釣池 芦田湖水光園
 鳥羽井沼 朝日池 大上へら池 田島池
 霧の沼 清川つくしFC 小川つり堀園
 三名湖・舟宿 光月 千代田湖・舟宿 千和
 西湖・釣舟 白根 西湖・釣り宿 丸美
 西湖・釣り宿 青木ヶ原 165ページ～

特集 両ダンゴ激釣ワールド

- 9 chapter.1 **生井澤 聡** in 羽生吉沼 パワフル短竿チョーチン
- 19 chapter.2 **小池忠教** in 清遊湖&三島湖 小池流エサ合わせの神髄
- 29 chapter.3 **中澤 岳** in 逆井HC ハイスピード・メーター両ダンゴ
- 36 特別付録 **業界初!? マルキュー研究開発部に潜入!**

●今月の表紙●
 angler: 生井澤 聡
 field: 羽生吉沼
 photo: 本誌・里
 layout: 本誌・里

COLOR (カラー)

- 38 名手・石井旭舟がいく、へら鮎出会い旅… **へらぶな浪漫街道**
《第三十三回》奈良県・布目ダム
- 44 棚網 久 あなたの夢を叶えます。
失業中の私にG魂を注入して下さい! ~ヤマ完全制覇~
ドリーマー:大串 博さん 釣り場:千代田湖
- 50 杉山達也の**SPLASH BEAT III**
《Vol.17》「重沈釣チョーチン」で、高活性・鬼東沼を斬る!
- 56 **わくわくフィッシングフェスティバル**
マルキューペアへら鮎釣り大会 野田幸手園
- ★**AREA REPORT**
- 58,66 道満河岸へら釣場(埼玉県) 本誌・伊藤洋一
- 60,68 追分池(北海道) 北林正行
- 61,69 五位ダム(富山県) 山本一朗
- 62,70 八神大池(岐阜県) 後藤 誠
- 63,71 生野銀山湖(兵庫県) 前田誠志
- 64,72 豊田湖(山口県) 河口正伸
- 134 **竹とともに生きる。**
《第26回》深山 深山 宏
- 137 戸張 誠 **野釣り道場**
《第十七回》【一碧湖】
- 143 田辺哲男の「それってどーゆーことよ!?」
《Vol.32》【ストライク・ステージ底釣り】
千代田湖で明かす、驚愕の鳥内正道流底釣り理論!!
- 148 吉川ひとみの「へらってヤバイわっ!!」
《Vol.39》DUEL CUP 2005レポート!
- 152 稲毛師匠と編集部諸が行く、**ODEKO危険度120%**
《第10回》都幾川(白河川、越辺川)東和田運動公園下(埼玉県松山市~坂戸市)
- 156 **NEO-HERA 2005** 【第三戦 弁天FC】
- 160 **私の宝物**
《Treasure.8》ゲスト:松木隆央さん
- 193 **喜楽にて魚心観展を開催**
- 195 岡田 清 **Deep Side Angle**
《Vol.24》【ベレ宙修得への挑戦II】 野田幸手園(千葉県)
- 203 **北川穂積の全国野釣り行脚**
《第9回》布目ダム(奈良県)
- 206 **釣果予想クイズ**
- 208 **フィッシングレディ**
《今月のレディ》京谷成美さん 野田幸手園(千葉県)

MONOCHROME (モノクロ)

- 73 **東レ将鱗へらぶなカップ in 羽生吉沼**
- 74 **第8回 東水メモリアルカップ in 羽生吉沼**
- 76 **へら鮎釣り 超基本講座**
《第10回》ベレ宙の超基本 実釣編
- 83 **あらいしのぶの なぜなぜしのちゃん**
《第10回》「しのちゃん、サンデー51クラブに便乗する」
釣り場・椎の木湖
- 88 **NHCスピリット**
《Vol.24》NHCへらぶなトーナメント関東シリーズ第4戦 清遊湖
- 92 **トーナメントー小林恭之が挑む! 竿頭までぶっ飛ばせ!!**
《Vol.22》「さつき池」月例大会リベンジ!
- 99 **江成公隆のトーナメントー、復活への道。**
《Vol.40》「水中王者チャカキング」in 町田H.C
- 106 **そんなモジリにダマされて… 天野正由**
《その22》へらブナだって夏休み(田貫湖~デュエルカップ幸手園)
- 110 **水辺のプラネタリウム 吉本亜土**
《今月の星空》「長崎揚羽」
- 115 **どやさー 今月の釣り場 西田美明**
《その10》「清和台天神池」 “天々の配合あれこれ”
- 118 **最狂へら戦士養成所“鮎の穴” 漢タカハシ**
《第三十一話》【漢タカハシ、トーナメントーへの道Vol.1
マルキューペアへら鮎釣り大会電撃参戦!】
- 122 **母なる湖… 琵琶湖へらを釣れ! 南 元彦**
《第6回》西ノ湖でギルのイレバウ!?
- 126 **野田幸手園新聞**
- 162 **ワクワク管理釣り場情報**
- 171 **小売店情報**
- ★**へら鮎BOX**
- 177 里ちゃんの新米編集長雑記
- 178 情報発信基地
- 180 ボイス
- 186 コラム『へら狂おやじと呼ばないで』 白石和弘
- 187 コラム『日研だより』 日研広報部長・遠藤克己
- 188 コラム『日々是、勉強!!』 ホワイト
- 189 コラム『紀州「想いの竹」のものがたり』 中峯伸行
- 190 プレゼント発表
- 191 広告索引
- 192 編集後記

STAFF

- Producer
根本百合子
- Editor in chief
田中里史
- Editor
大場勝良
諸富一秋
伊藤小百合
伊藤洋一
- Planner
〈オフィス・えふ〉
藤原 肇



この物語は、
栄光、そして挫折を味わい、
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka
業界初、Web運動企画！〜のハズが更新滞り中！ (URL) <http://hesar.yokohamaturumi.net>

〈Vol.40〉
水中王者
釣本誌
machida
2005 summer in ~~yokohama~~ SECOND
「一歩進んで二歩下がる!?!」



江成公隆、
初めて訪れた町田HCで
6時間、203枚。(7月号表紙風で)

とんでもないモノを見てしまった
お盆休み中で貸し切り状態だったとはいえ
200オーバーは簡単には出せないのだ。
しかしアニキ、顔、コワイっす…。

by 里ちゃん

空振り。

8月15日。取材当日の朝。さんざん迷って
横浜市内のある釣り堀に着いた僕と里ちゃん
は、駐車場脇の看板を見て愕然とした。

「月曜定休」

江..ちょっとどうなってるのよ! 事前の
リサーチが足りないんじゃないのオ! 岡田
君も何も言わなかったんでしょ?

里..:こっぴどいたらヤマでも行きますかア!
江..いいねえ!でも、原稿は知らねーぞ!
それに竿も貸してくれよ。9尺までしか入っ
てないから。

里..冗談ですよ。それにしても参ったな。
もう延期は無理ですし…。

釣り堀の朝は遅い。この日も8時開園に合
わせた釣行だったため、次の目的地選びは難
しい。「灯台アモクラシリーズ」の続編として
は、どうしても横浜市内で釣りがしたい。し
かし、肝心のテーマであるカックゲが出来る
自由釣り規定の池となると限られてくる。

二人はカーナビと携帯のアドレス帳を見な
がら考えた。考えながら走っているせいか、
里ちゃんは道に迷いまくっている…。

①もったも無難なのは前回と同じ「やま喜F
C」で続編。

②市内にこだわれば「○○池」。しかしメー
ー規定。

③横浜ではないが、「町田HC」。チャカOK
であり、現在地からもっとも近い。

悩んだ末、僕は③を選択。「横浜ではないが、
同じ神奈川県」と納得。しばらく車を走らせ
てから、町田市は東京都だったことに気付い
た(町田市の皆さんゴメンナサイ)。これは僕
の住む「矢向」が、横浜ではなく川崎市にあ
ると勘違いされているのと同じようなものだ
ろう…って何だそりゃ。

チャカキング?

里ちに言われたのだが、「ところでチャカキングは誰なんですか?」という読者からの質問が多かったようだ。確かに「カツケ大会」という予告はしていたし、取材も競技会ふうに行われた。結果としては伊藤編集員が一番釣ったわけだが、イコール「キング」にするつもりはない。なぜなら「キング決定戦」をたった3人で戦い、しかもそのうちの1人が僕というのはマズいだろう。実はもともと、僕にそういう意図はなかった。なので、今回はピンでの取材である。タイトルの「チャカキング」は、子供達に大人気の「ムシキング」のパロディである。「息子が大喜びするに違いない」…ただそれだけ、だった。

「だった」と書いたのは、「水中王者」という駄洒落を思い付くまでのことだったからだ。「昆虫」を「水中」に読み替えるのは語呂がいいが、あまりにも大袈裟な言葉になってしまった。「チャカの一等賞」ではなく、「水中の一等賞」である。さすがに僕はためらった。それでもそのまま掲載したのは、僕の個人的な思い入れが作用した。いつも書いていることだが、底釣りからカツケまで、セットから両ダンゴまで全て根本は同じだと僕は考えている。しかし実際、現在の僕はタナでいえばチョーチン、エサでいえばセットに自信がないなど、「全く同じ」に矛盾するように思われるかもしれないが、自分では「慣れ」の差だと思いついてる。そのため、釣り方に優劣をつけるのは大嫌いだ。しかし、である。近年、一部の深田マニアの「浅いタナ」蔑視は目に余るものがあり、ならばと僕も言わせてもらおう。

「浅いタナは、釣りのリズムや基本を学ぶには最高の王様である」

メーターよりも、特に自由池でのカツケが最高だ。ダイレクトに「いるタナ」を攻められるカツケは、シンプルな組み立てで「易しい」と言えなくもない。が、「易しい釣り」=「下等な釣り」としてしまっているのなか? 自分の得意な釣りの難しさに酔っているうちは、指導者ツラをするのは早い、と僕は感じる。どんなに他人より多く釣れるとしても、なんの価値もないし、全く偉くない。趣味の世界の自己満足だと知るべきだ。

そんなわけで、「チャカキング」とは人ではなく、「釣り方の優劣」に対する僕の感情の顕われだと御理解頂きたい。業界が「へら釣りはスポーツ」というスタンスで底辺拡大を目指すなら、もっとも躍動感のあるカツケは外せない。ファーストフィッシュを得やすい点でもお手軽なカツケは、もっともっと取り上げられていいはずだ。ちなみに僕が一番好きなのは「底釣り」であることは、今までさんざん公言してきているので信じてネ。

300枚で表紙!?

9時半。タナをウキ2本分、ハリスを25-30cmとして第1投を送った。池の終了時間は16時だから、残りは6時間半しかない。それを見越した里ちは、

「アニキ、300釣ったら表紙ですから」と、涼しい顔で言い放った。町田HCは僕にとつて初めての釣り場である。全く情報がなかったが、1時間後の僕のカウンターは「45」。さすがの里ちゃんも顔色が変わった。

江:里ちゃん、男に二言は無いよなあ?
里:やだなあアニキ、さっきのは冗談ですから…(汗)
江:何だとオ!
冷静に計算すると、時間あたり45枚でも3

00枚にはギリギリ届かない。昼休みでの中断もあるのでかなり厳しい…。そんな事を考えていたら、あっという間に次の1時間が経過してしまっただ。カウンターは「70」。おもしろい失速である。

里:アニキ、これじゃ200も厳しくなってきたまね。ま、これが実力ですよ、アハハハ

江:うるせーな、「最初から出来上がっちゃったら後は崩れるだけ」なんだよ。次の1時間を見てろつての!

里:ハイハイ。ところで、もう昼飯の時間ですけど♡

最初の1時間、僕は「アタリが甘い」と感じていた。もう少し言うと「素直な感じ」であり、「あまり攻められていないウブ」という印象だった。さらにこの素直さによって、へらは余分な動きをせず、エサが着水した瞬間の条件反射も乏しく「アタリの遅さ」に繋がっていった。取材当日、1度も背ビシは出ていない。もちろん結果的に時間あたり45枚という、自分にとって久々のハイペースであったので、「遅い」といってもそんなに遅くはない。ただ、ほとんどウケないし、サワリとアタリが連動していないのだ。普通、これは釣れないパターンなのだが、今回のケースでは、シーンとしていていきなり動いたと思ったら、それでもう食っているのだ。なんだか新べらを釣っているみたいで、カツケをやっている気に全くなれない。とりあえず、いくらかは仕掛けを吊ろう(張ろう)とタナをウキ1本分浅くしてみた。あまり効果がないような気がしたが、回転を考慮してこの変更はキープ。伊藤氏の影響か、長めの2本バリでスタートしたせいかもしれないと感じてみた。が、「居食い系」で動きがズルズルだが「釣れちゃう」状況に何の変わりもなかった。

新発売された話題のカーボンロッド **「宮本武蔵」**

威風堂々の黒光り。宮本武蔵の金文字がキラリと光る。男のダンテイズムと渋さが際立つ外見だ。「振り込みやすさ抜群」「かけ味がいい」「軽い!一日振っても疲れない」など新発売早々、幅広い支持を受けている

左端の金額はあなたがブランド名にこだわらなければ得して残るお金だ。将来に不安が大きいこのご時世にこの差はありがたい。

今なら、発売記念特別価格でなんと尺単価980円!

しかも、3本以上まとめて購入すれば、なんと8尺が1本無料プレゼントされる特典付き!(数量限定お早めに)

その上、送料無料、安心の代金後払い返品自由も良心的だ。

さて中硬「宮本武蔵」。

無料資料請求はカンタン

今すぐ、通話料無料24時間録音テープに住所、氏名、電話番号を残すだけいままら、資料請求者には、釣り場で重宝するタオルが無料で進呈される。ただし、先着58名限定なので

今すぐ
01200・76・25388
日本テックラボ

得

十六万六千円も損をしたくないと考えても無理はありません



歯をくいしばった江成の豪快なアワセが決まる。アワセの激しさは毎回変わらずだが、ウキの位置やミチイトのフケ具合、それにアタるタイミングによって、見ていて面白いほど実に様々なアワセのバリエーションを使い分ける。釣り堀専門の名門「ゴールデン」で長年三役に座っていた実績は伊達ではなく、まさに「箱師」

昼休み。町田HC特製「ひやむぎ」をいただく。絶品



タイムアップ。エサまみれのカウンターが示したのは、203



取材後、岡田氏が焼く「鶏匠」に寄る。里のVOXYで出掛けたこの日、運転の心配がない江成は飲みまくった…



トリプル・チャンポン。「軽グル」3つかみ+「マッハ」3つかみ+「魔法の粉」スプーン2杯を粉のうちに良く混ぜ、水を適量？注いでベチャベチャに。これが基エサ（アニキはいつも適量）。調整には「ライト」「夏」「マッハ」「スーパーD」を使用した。最終的には基エサを数百回練りとばしたベッタベタのエサになっていた。指先を毎回濡れタオルで拭かないと、エサの表面が毛羽立つ程のネバ（オカユですか？）であった。写真に写っている「グルダンゴ」は、前日に里が買いに行かされたもの。職場のそばの大型釣具店では置いていなかったそうだが、江成は「どうしても試してみたい」とグズった。人使いの荒いアニキである

この日もっともメロったウキ。小さければいいってもんじゃないようだ



年季の入ったゴム管を使用する江成は、ウキのすっぽ抜けはお約束だ。この日も何度も抜けていた。ゴム管ならどの釣具屋さんでも売ってないっすか？



だいぶ髪が伸びた江成。タダのボサボサにしか見えないのだが、ほぼ10年振りに美容院なんぞに行ったそうだ



「食えるものなら食べてみる！（この短バリスで）」「ストライク・ステージ、チャカベタン！（意味不明）」釣りの最中連呼していた江成は、かなりの「へら鮎」愛読者（オタク）である。江成の持論は、「30cmのハリスを食うのに、3cmのハリスを食わないわけがない！微調整がつかれば大きな差になる。1cmずつ詰めていったらどうだろう？」というものだが…ちょびっとばかり強引な気がしないでも…？

「エナリが考えるオーバー200」

僕にとって200という数字は、誤解を招きやすい表現だがあえて書くと、「考えて釣る釣り」と「考えない釣り」の境界線という気がする。考えない釣りは、ヒット率をあまり気にせず、リズムをメインにして組み立てる釣り。当然、全く考えなくていいわけではないが、ある程度のラフさには目をつぶる。「アタリで釣る釣り」「勢いで釣る釣り」と言い換えてもいい。アタリは出すものではなく、ポンポン出てくる状態という意味だ。結果論だが今回も落ち着いて、ペースを故意に落とすことで、250は狙えたのかもしれないが、僕は夢を見たかった。まだ経験のない400オーバーの世界。もちろん掛ける度に遊ばれてしまうような大型揃いの池では回転で無理だが、今回は可能性がちょっとでも見えてしまっただけは、落ち着いてなんかいられない。

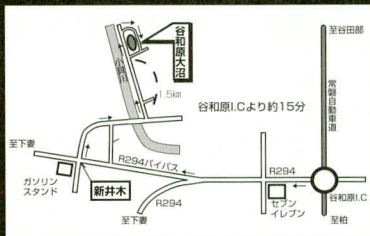
ちなみに僕の自己記録では、懐かしい王神湖で瞬間風速だが時間あたり70枚。1日の釣果だと、多摩川HCで350~360枚というのがある。どちらもマジカルでミラクルな世界だ。エサを切ろうと竿を上げたらちょうどアタったり、リャンコがよく混ざったり、とにかく普通の状態ではない。何をやっても結果オーライになる。ただここで注目して欲しいのは、時間70枚は不可能な数字ではないということだ。少ないなりに当然空振りだっている。ではいい、1時間当たり何枚出来るのか？



大小、様々なへらがぎっしり！ カツケから底釣りまで、思う存分腕を磨いてください！！

アタる！ 釣れる！

谷和原大沼



- 入場料 1日2000円 半日1500円
女性・中学生以下 1500円
- 営業時間
4~9月 平日 6:00~16:30
土日祝日 5:30~16:00
10~3月 平日 6:30~16:00
土日祝日 6:30~15:30
- 規定 竿7~18尺 タナ・エサ自由
(生きエサ・一本バリ禁止)

〒300-2400 茨城県筑波郡谷和原村根新田228
☎0297-52-2763

あまりにも「ツン」が少ない…。

僕はガツンとしたアタリで釣るのが好き。カックでよくいわれる「横ブレ」も、僕はハリスを極限まで詰めることでダイレクト感を増し、「横ツン」にしてしまう。僕のウキの動きは誰が見ても分かりやすい筈だ。ただ、「釣り人側に分かりやすい動き」を追求すればするほど、へらの警戒心は増す。「魚が安心して」食っていた最初の1時間のセッティングをいじらない方が、どう考えても正解なのだと思う。それでもいじらずにはいられないのが僕である。

僕が究極の短ハリスセッティングにおいてよく感じていることだが、「普通の」ツンは、食いアタリではないのかもしれないと思えるほどカラになりやすい(もちろんウキから下のたわみ具合にもよるが)。乗るのは、放っておけば消し込みそうなほどの力強いツンだ。あまりにもいいアタリに、「アワセなくても乗るんじゃないの?」という人がいるが、「力強い吸い込みは、吐き出しを想定した『危険覚悟』の状況で起きている。間違っても食いがいいのではない」と感じるのだ。僕が瞬発的な激しいアワセになるのはそんなイメージを持っているためである。

2時間目は試行錯誤に費やした。ハリスをどこまで詰めたら好きなアタリになるのか。10-13cm。ついに素直だったへらが警戒し出したようで、しっかりしたアタリが出始めた。アタるタイミングの微妙な遅さは相変わらずであり、いちだんと遅くなったということもない。ここで僕はウキをサイズダウン。アタるタイミングの改善を狙ったが、ウケてそこからアタるといふパターンには残念ながらもらずに、ショートストロークがモミと消し込みの判別を難しくさせるだけだった。ムクトップも試したが、やはり全く意味がなかった。ウキを最初のものへ戻し、再開第1投目。すぐに釣れたが下バリがない。ここで僕は1

本バリを試す。先月号に書いたように「もたなくて無駄な1投になる」筈だったが、ならなかった。レアなケースではあるが、本当に余分な動きをするへらが少なく、素直なのだろう。イマイチ気に入らないのは反応の遅さだが、1本バリでも2本バリでも変わらない以上、午後からも1本バリでキマリである。



昼食後、再開してもなかなかアタリが出ずアセったが、寄り出すと午前中の動きを上回った。いよいよウキがつかえるようになってきたのだ。僕はこれをいよいよガサが動き出したと受け止めた。時にはウキがナナメ立ちしたり、ナジまないまま止まっていたりと、午前中なら「イタダキ!」の動きがまるで乗らない。それら余分な動きを送って最初で力強いアタリがごとくカラになる。食われる前にエサが崩れてしまっているのだ。そこで、ウキとオモリの間をゼロ、すなわち「すっテンテン」にして1発取りを狙ったが、真上のへらは手強く、すぐにウキ一本分に戻した。次に僕は、一瞬2本バリを試している。だいたい1本バリでもませ、送ってアタリをとるなんてナンセンスだ。しかし、どんなに湧いていても2本バリが苦にならないと先月号で書いた僕だったが、この日の1本バリに慣れた目にはさすがに動きが多過ぎ、すぐさま1本バリに戻した。

僕は今まで、1本バリではあまりハリスを詰め過ぎないようにしてきた。2本分の役割があるからだが、この日の午後は10cm1本で十分ウケとアタリが連動している。これを少しずつ詰めていってどうだろう…。

結果は5cmまで詰めたところでウキが立ちづらくなってしまい、元に戻した。ある程度オモリ先行でエサと離してやらないと、釣り

にならないようである。しかし、オモリ先行では落下中のエサをコントロール出来ない。ナジミ際にエサが叩かれてしまっているから。僕はウキケースを手にとった。先ほど効果のなかったムクトップのウキと交換するためだ。しかし、最初にアタックしてくるのは食い気のないガサだという僕の結論が、交換をためらわせた。結局手にとったのは、さらに大きいパイプトップだった。

オモリ調整。自分としてはカックでは有り得ないくらいオモリを背負う。このままでは完全にオモリ先行のままである。僕はハリスを一気に3cmまで詰めてみた。エサ先行は無理でも、せめて「同時潜行」に近づけたいという考えからだったが、結果的にはこれでペースに乗る。強引にぶち込んで正解だったようだ。しかもそれまでより明らかに型がいい。釣り込みながら、「ガサが寄ってきた」のは僕の勘違いで、実は活性がさらに上がってしまったってだけなのかもしれないと思っただが、それはもう分からない*。相手がせっかく活性の高いへらであったとしても、僕のセッティングはギリギリに追い込む。食うへらを食べないへらに変えているのは自分という可能性は極めて高いのだ。

紙一重の勝負を挑む以上、微調整は欠かせない。終盤、ハリとハリスの号数を落とさないと、カラツンは消えなかった。最後までハリスを伸ばしてみなかったのは、僕のバカなことわりである。

*江成の追記:こうして書き出してみると、元のサイズのウキで、オモリとウキの間隔セロの時、5cmのハリスは試していない事に気付く。とんだ消去法である。だいたい、セッティングに走る前に、エサのタッチを大きく変えるという手もあったかもしれないのに、微調整くらいしか僕はしなかったのだ。でも、「みんな、そんなもんじゃないのかな」とも思

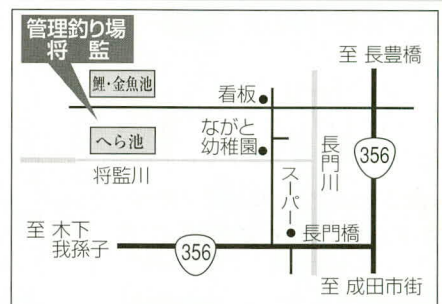
〒270-1523 印旛郡栄町脇川96

☎0476・95・0409

管理釣り場 将監 (しょうげん)

- 営業時間 4~9月 日の出~17時
10~3月 日の出~15時
- 料金 平日 1,500円 半日(11時~) 1,000円
土・日・祭日 2,000円 半日 1,500円
女性・子供 1,000円
- 規定 竿8尺以上
- 鯉、金魚釣り開設!

営業時間 9~16時(平日、日曜共通)
2時間1,000円(貸し竿、エサ一式込み)



釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

- 1.ぐりへの鮎会
- 2.ぐりへの鮎会
- 3.ぐりへら鮎会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

ウキや小物の銘入れに

転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～
2回目以降同じものをご注文の場合は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)

03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)

044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)

03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)

044-711-8266

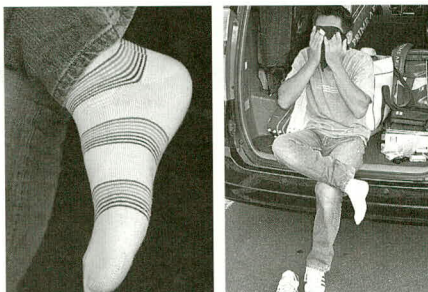
鮎仙人(神奈川県川崎市)

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店
または下記HPまでどうぞ

office27
あとりえぐり

http://www.office27.com
E-mail:info@office27.com



お疲れ様でした! シーブリーズを含ませ持参したオシボリで顔を拭く江成(もうひとつない?)。ちなみにこの日もレインボー柄のTシャツだったが、今回はappleではなくadidas。しかも靴下までadidasで、「当然」レインボー…。「アニキ、そんなのばっかり持ってるんですか?」「多いね。買い物してて、気付くと『レインボー』を探してる時があるよ」[……]

久しぶりのカッテで「8尺でも長いな」と感じていたが、後半吹いた風は、僕の神経をすり減らした。アタるまでなるべくエサを開かせたくない究極の一発取りでは、糸を沈める行為が命取りになる。エサも動いてしまいうからだ。風がなければ僕はあまり沈めないが、流れがつかずには沈めるしかない。ウキが立つ時に仕掛けは最も動くから、それと同時にする工夫も必要だが、振り込んだそばから沈め始めないと間に合わない流れだ。取材当日、風はやむことはなかったが、弱まった時には僕は沈めず、ノーテンションを優先した。この時、風上の水面にミチイトのループを作るとは忘れてはいけない。魚がからんでいれば一段と流れが弱まるから、そんな時は絶対に糸を引かない方がいい。ミチイトについてもひとつ。細ければ細いほど風流に強いのは常識だが、メーターで0・6が標準的に使われている今、カッテで0・6では太過ぎるかもしれない。今回の僕は0・6を使ったが、ちょっと反省している。0・4はためらうが、盛期でも0・5く



らしいはとどめたいと感じた。

近況報告。

「ホームページが滞っている」という声がよく寄せられますが、年末までにはリニューアルの予定です。自宅サーバ自体が不調なので、「江成んちの繋がんねえよ!」と感じている人も多いと思います。これに手を入れる際、ブログにする予定です。「へら鮎社のホームページもちゃんと更新しないとなあ」と思っているのですが、なにせ原稿を送ってこないのは里ちゃんですから…。

「自作自演」はたまたま。クラブ対抗に出場する権利がなくなって、存在理由の半分がなくなってしまったのが大きいです。いまだに作成中のままの自作自演ホームページもたまたまですが、現在会員登録されている方は、そのままJPO利用可能です。

要は以前も書きましたが、時間をやりくりするために、「広げすぎた店をたたむ」ってこととです。当初、「たたむべきものリスト」の筆頭は「釣り」、そして「連載」でした。けれど鶏匠で里ちゃんに諭されて…

でしようか」
(いや、じゅうぶん可愛がっていると思うけど…)

「釣りだけはやめちゃダメです。やめたらまた精神的に支障をきたすんじゃないですか?」
(それは言えるかも…)

「ボランディア? そんなものやめちゃっていいですよ。人のため」なら、この連載だってそうですよ。僕のため、読者のため…偽善はそれで十分じゃないですか?」
(偽善は言い過ぎじゃないの?…でも、その通りかな)

中途半端な状態で出るのは本当は嫌なんだけれど、今以上に釣行ペースは上がらないのなら仕方ないですよ。いまの状態でメジャーーナメント予選は出ていきたいと思えます。ボンヤリしていたらシマノJCは締め切られていたので、復活したダイワへらマスシリーズに挑戦してみたいと思います。予選当日、休めるかが問題!?

…というわけで、江成、今年の「ダイワへらマスシリーズ」予選に参戦決定! 40回を越え、これでもやく連載タイトルの趣旨に即した内容をお届けできるか!?
by 里ちゃん

へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

Monthly fishing magazine herabuna



秋は両ダンゴで豪快に釣れ！

両ダンゴ 激釣

激活性の羽生吉沼に、若き挑戦者が降り立つ。短竿深宙両ダンゴ、気合の激釣87kg！

生井澤 聡

完全無欠、「釣神」のエサ合わせに迫る。清遊湖&三島湖ダブル取材敢行！

小池忠教

140枚、59.4kg…。逆井H.Cで魅せる、ハイスピード・メーター両ダンゴ！

中澤 岳



管理釣り場でも

野釣りでも

「天々」で決まり!!

チョーチンは



横山天水は管理釣り場で、
いまの傾向に
合わせるために。

「天々」600cc+
水200cc (30回ほど練り込む) +
「スーパーダンゴ」300cc

最近の管理釣り場でのチョーチンのエサの傾向は、軽めのネバ系。そこで横山は、軽めのヤワネバ系で、しかもタナまでしっかりと持つ「天々」を、パターンを中心に据えている。さらに「スーパーダンゴ」を加えることで、エサの微妙な開きも追求。使っていてエサが持たなければ、どんどん手押しして、エアを抜いて使用。少し、魅のポソを残したほうが効果的だ。



小山圭造は野釣りで、
タナまで
持たせるために。

「グルバラ」200cc+
「GTS」200cc+
「天々」200cc+
水200cc (よくかきまわして)+
「スーパーダンゴ」200cc (しめる)

小山圭造が野釣りのチョーチンで重視するのは、深いタナまで確実にエサを持たせること。だから小山は、「天々」をはじめとする、ねばりのあるエサでパターンを組み立てている。このエサは特別に重くないうえ、甘めにつければ浅なじみし、丁寧に手もみしてつけば深なじみもする、自由度の高さが特長。さらに、「スーパーダンゴ」により、野釣りに不可欠な集魚力も備えている。

幅広く使える、ヤワネバ系ベースエサ。

軽めのヤワネバ系で、深いタナまでしっかりと持って食わせる、チョーチン釣り用ダンゴエサ。しかも、なじみ際の早いアタリを、積極的に攻めています。ダンゴの走りから晩秋までの、長いシーズンに対応。管理釣り場から野釣り場、準山上湖まで、使うフィールドも選びません。単品で使えるのももちろん、特長のあるエサをブレンドすれば、より幅広い状況に合わせていきます。

●天々(てんでん) 400g スライダーチャック袋

丸 マルキユー株式会社
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909
合わせ 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら
iモード・ホームページ
<http://www.marukyu.com/i>

